

かじか



令和3年3月10日
岩国市立美川小学校

朱子の言葉に学ぶ

校長 村重 忠

今から約900前に生きた朱子は、勸学文としてこのような言葉を残しています。

謂う勿れ 今日学ばずして来日ありと
謂う勿れ 今年学ばずして来年ありと
日月逝きぬ 歳我と延びず
嗚呼 老いたり 是れ誰の愆ちぞや

この言葉を読み解くと以下のようになります。

「今日勉強しなくても明日すればよい、今年勉強しなくても来年があるなどと思ってはいけません。月日はいつの間にか早く過ぎ去るもので、勉強しておけばよかったと年をとってから嘆いても、それは誰のせいでもなく、あなた自身の間違いなのです。」

これによく似た言葉として、ある有名な予備校講師の先生が言われる「いつやるか、今でしょ」のフレーズは、見事に的を射ています。

この度卒業を迎える2名の児童は、この6年間、毎日の学びを決してないがしろにせず真面目に毎日を過ごしてきました。ある子は良きお姉さんとして後輩を良い方向へ導いてきましたし、特に各行事での堂々とした挨拶や発言は、見ていて頼もしいものでした。またある子は皆を元気づける大きい歌声や、積極的な発言、明るい雰囲気での立ち回りで後輩の見本となってくれました。

この2人が最上級生として立派に活躍できるようになったのは、御家族の方々や先生の言われることをよく聞き、朱子の言うように毎日の学びをきちんと真面目にやってきたことが大きく影響しているものと思います。

この子たちも、これから先社会人となれば、小学校のように先生から「これをやりなさい、あれをやりなさい」と言われるだけでなく、自分の夢の達成のために学びを選択していかなければならなくなります。学びについてあれこれ言われたいという事は、期限を自分で決められることもあって、ある意味気楽に思えるかもしれませんが、しかし、だからといって「今日勉強しなくても明日すればよい、今年勉強しなくても来年がある」という考えでいると、年をとってから後悔することにもなりかねませんし、何よりも自分の夢の達成にも大きく関わってきます。

とは言え、2人とも「今」の気持ちで真面目に学びを積み重ねていけば、立派な社会人として成功できるでしょう。

あとは、これまでの学びで得たものを、加えて、これから先積み重ねる学びで得るものをふるさと美川町に生きる後進に伝えてくれること、そのことが後進それぞれの「今」の学びに寄与するとともに、結果的にこれまでお世話くださった御家族や地域の方々への恩返しになることに期待します。